

令和7年度協働事業提案制度 公開中間ヒアリング

日時 令和7年10月18日(土)

午後1時～午後5時

会場 けやき会館 2階 大研修室

13:00	〈 開 会 〉					
13:00	市民	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」	積極的な取材・調査によって「ユニバーサル通信」における事例・情報紹介の紙面を豊かにし、発行頻度を増やし、配布対象を官民・市民に拡大して、市民のUD理解を深めて、共生社会の礎となる意識形成に資する。	特定非営利活動法人 ここすっと	地域包括ケア推進課	R5
13:40	市民	農園を活用した児童福祉支援事業	不登校に苦しむ児童・生徒には、自分達が安心できる居場所がないという社会的課題がある。まずは、こうした子供たちが農作業や工作などのワークショップを通じて社会参加へのきっかけやつながりが感じられる場を作り、ワークなどを通じて得た人とのつながりや成功体験をきっかけにして自立や社会参加に向かう子供たちを増やしていく。	福祉支援活動 トモ_ダチ園	教育相談課	R6
14:20	継続辞退					
15:00	市民	木炭蓄電池のソーラーシステム製作を通じた「脱炭素」意識を醸成する環境教育ワークショップ事業	「脱炭素」を市民および子ども達が具体的にイメージし行動するきっかけになるよう、木炭蓄電池のソーラーシステムで地産地消型のエネルギー供給モデルを作り、作り方などを教える環境教育ワークショップを展開する。	NPO法人 Class for Everyone	ゼロカーボン推進課	R6
15:40	〈 閉 会 〉					

主催 NPO法人市民フォーラムさがみはら 相模原市

公開中間ヒアリングについて

協働事業提案制度公開中間ヒアリングは、事業の進捗状況や協働の状況、成果を検証し、協働事業提案制度事業としての妥当性や継続性などについての評価を行い、次年度の継続を希望する事業の継続可否について審査を行うとともに、協働を学びあう場として開催します。

また、中間地点においてしっかりと双方が事業の振り返りを行う機会を持つことで、より質や効果の高い協働事業となることを期待しています。

公開中間ヒアリングに臨むにあたり、評価項目が18ある中間ヒアリング調書を実施団体と事業担当課がそれぞれ事前に作成しています。

それぞれが行ったa～dの評価を点数化し、各事業における実施団体と事業担当課の意識差を次ページに掲載しています。

こうして、意識に差がある部分は何かを明らかにすることにより、今後のより良い事業実施につなげていくことも、このヒアリングの目的としています。

また、実施団体と事業担当課が作成したヒアリング調書もあわせて掲載していますので、ヒアリングを聞く際の参考としてください。

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください ⇒		1			
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和5年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」					
団体の名称	特定非営利活動法人ここずっと					
事業担当課	地域包括ケア推進課					
事業の概要	積極的な取材・調査によって「ユニバーサル通信」における事例・情報紹介の紙面を豊かにし、発行頻度を増やし、配布対象を官民・市民に拡大して、市民のUD理解を深めて、共生社会の礎となる意識形成に資する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>ユニバーサルデザイン(以下UDと表記)の言葉と意味を知る市民が3人に1人という現状から、当市のユニバーサル指針をわかりやすく発信して、その意味(バリアフリーとの違い)を正しく理解する市民を更に増やし、共生社会を支える市民意識の醸成を求める。特に、市民・事業者へ情報発信して、あらゆる場面でインクルーシブが当然とされる社会変革にあたり、具体的事例を含めた情報提供を豊富にして、ICTにも馴染み、主体的活用を支援することを目指す。</p>					
令和7年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>① 『UDさがみはら』のvol.5及びvol.6の発行と配布。 ② 取材活動等を通じて信頼関係を構築して記事掲載し、取材先の広報・宣伝に寄与する。 ③ 掲載記事に触発されたUDに向ける発意を支援し、UD実現のための活動の援助を行う。 ④ ③の発展として、一般市民・事業者とUD理解を図るとともにその具体的端緒を提案・援助する。</p>					
令和7年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何か。</p> <p>① 5～6月 発行のための取材活動 ② 7月 『UDさがみはら 第4号』編集・割付・印刷発行 7/25付発行 ③ 『第4号』の配布。地域ふくしまつりとの連携による掲載記事の「ともいき広場」広報活動。 ④ 7月26日(土)大野北公民館にて利用者懇談会にて第3号記事のUDトーク研修会実施 ⑤ 9月 社協南地域福祉交流ラウンジふくしまつりのUNI-voiceコード提供とナビレンス貼付提供 ⑥ 9月 SNS発信 第4号朗読版映像のyoutubeへのアップ 当法人HPにアップ</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何か。</p> <p>① 11月25日発行予定 第5号 テーマ:フードUD関連と教育におけるUDについて ② 3月25日発行予定 第6号 テーマ:UD料理教室開催まで ③ 11月3日開催シンポジウムのUDトーク支援、「ともいき広場」広報支援、ポーノ(相模大野のショッピングセンター)ナビレンス通常貼付メンテナンスなど、地域UD取組み支援 ④ 「UDはいつものくらしから」…UD着手のハードルを下げる日常的な広報活動を目指す</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(40)%程度</p> <p>成果をはかる指標(関連支援活動と好評) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 ○関連企画 ふくしまつりポスターにUni-Voiceコード付与/ふくしまつりポスター展示にUni-Voiceコード付与/6.14 市民講座牛山氏講演にUDトーク付与/7/26 UDトーク活用講座講師派遣/ナビレンス常設貼付/ふくしまつりにおける「ともいき広場」紹介/youtube朗読映像のアップ</p>					
事業予算額	755 千円					
うち市負担金額	608 千円 (市負担割合 81 %)					

令和8年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和8年度 事業予算額	799 千円	(当初提案時の金額 :	940 千円)
令和8年度 市負担金希望額	560 千円	(当初提案時の金額 :	671 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 事業年度2年目を迎えるにあたり、総括的に意思疎通できていなかった部分の洗い出し、その齟齬の原因について話し合う機会を4月初めに持つことができました。その話し合いによって、互いの言葉で共通としていなかった部分の洗い出しができたことによって、だいぶ風通しは良くなったと思われる				
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 2年目の4月の話し合いによって、協働事業へのイメージの共有はすり合わせによってだいぶ近づけたと思うが、そのことを前提として展開できる活動についてどれぐらい協働できるかについては、イメージがつかめない。別の言葉でいえば、当法人の判断によって動いてしまっていて、何処までを協働事業と呼んでいいのか迷うところがある。				

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 明らかに協働したことによって活動への信頼性評価は上昇して、提案主体として認知されるに至っている。しかし、どこまでを協働事業の範疇にできるかについては必ずしも確信が持たず、にもかかわらず、展開できるだろうと考えた事業の実現性において、どこまでその信頼性が担保となっているかについては、断言できないと感じている。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 初年度の齟齬をどこまで乗り越えられているかについては、良い意味で修正は果たせたとはいえるが、乗り越えられたかどうかは行政側の判断もあると思う。ある意味では、行政ならではの特性と、その特性への期待について、そもそものイメージが無かったのではないかと、自らを省みて思う。市民と行政の協働において、より深い思考が必要だったと今さらに反省するものである。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	協働事業として取り組んでいることを明確に伝えることによって、その後の関係性や話し合いが大きく変わるの事実。市民活動の範囲では得られない信頼を得ることができた。提案への根拠も好意的に受け止めてもらうことができた。また、行政の指摘に応じて取材活動そのものの報告制を修正することによって、出会えない人たちと出会うことができた思いは大きい。この出会いを生かすことは、わたしたち自身の活動にかかっていると考えている。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	UDについての見解は、特に市民になかったと実感する。むしろ、事業者は経済的活動の差別化に結び付いていることもあって、より関心度は高かった。その温度差は、協働事業を開始する前には、自身では実感できないものであったし、殊に事業者においては、協働事業であることが情報開示の根拠になるものであって、協働しなければ得られない情報の提供となったり、逆に、わたしたちの活動を知って事業者にとっても新鮮だったと思われる。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	果たして、どこまでを協働事業の範疇とするかについて迷いがあるので、何とも言えないところがある。また、わたしたちは営利事業にタッチできないので、経年とともに、わたしたちの負担が増えていく根拠をどこに見て、また、どう賄えばいいのか迷いがある。				

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

第1号にて取材先となった日相印刷株式会社荒井様との出会いが大きかったと振り返ります。おかげさまをもちまして、Uni-Voiceコード付与のための切り欠きのある印刷が安価で確実にできるようになりました。その出会いをもって、本年6月に大野南自治会連合会と共催で行った市民講座にUDトークによるオンタイムの字幕表示提供を行い、そのことを元に、初めてブックレットの印刷発行を果たすことができました。

20

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

第4号でのテーマはUD公園でした。その取材活動を通じて、神奈川県福祉子どもみらい局 共生推進本部室を通じて厚木土木事務所津久井治水センター工務課公園班の「ともいき広場」造成事業にたどり着くことができました。地理的には市内で取組まれていたことが地元には全く伝わっていなかったということで、のハードルを一気に下げたことになり、好評いただくと同時に意義を感じました。また、UD公園をテーマにしたことにより、インクルージョンの意味とその位置づけに気づけたことも大きい。8月3日に開催された「津久井やまゆり園事件を考えつづける会シンポジウム」において、当事者の「インクルージョンを実現してほしい」という訴えに呼応する形で第4号を配布することができたことは、特筆できる成果ではないだろうか。

21

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。

相模原市路政課と野村不動産さんに働きかけ、ポーノ相模大野市宮駐車場とショッピングセンターの間の通路にナビレンスを常設的に貼付することができるようになりました。アクセシビリティの拡大についての意識向上に大きく資することができるものと期待できます。また、ラウンジふくしまつりの実行委員会の席上において、当該チラシにUni-Voiceコードを付けたらどうかと一般の参加者から声が挙がり、それにこたえる形で実際に付与することができました。周りからの声が挙がったことが、何よりも嬉しいです。

22

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

責課で作成された「ユニバーサルデザイン パンフレット」と「カラーユニバーサルデザインガイドライン」が素晴らしいので、是非とも、わたしどもも活用させてください。改訂の際は、わたしどもも加えていただくとさらに幸甚です。また、相模原印刷広告業協同組合さんが年度初めに開催される「よりよい印刷物の作り方」研修会にテキストとして提供されることはできないでしょうか？ さらには、こちらのテキストを使った研修会や講習会などをされることを期待します。（その折にはもちろんお手伝いをさせていただきます）
第5号では、学校教材でUDをどう扱っているか？ということに触れられるような記事を模索しております。子どもたちも小学校5年生でUDを学んでることがわかりましたので、子どもたちにも情報が届くように公立小中学校の校内に掲示してもらえるような配布は考えられないでしょうか？ ご検討のほど、よろしく願い申し上げます。

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください ⇒		1			
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和5年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」					
団体の名称	特定非営利活動法人ここずっと					
事業担当課	地域包括ケア推進課					
事業の概要	積極的な取材・調査によって「ユニバーサル通信」における事例・情報紹介の紙面を豊かにし、発行頻度を増やし、配布対象を官民・市民に拡大して、市民のUD理解を深めて、共生社会の礎となる意識形成に資する。					
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。					
	「UDさがみはら」のVol.5以降の発行と配布を通じて、民間企業や団体を含めた市民へユニバーサルデザインの普及、促進を図るもの。					
令和7年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何ですか。					
	UDさがみはらVol.4～6の発行 市HPへの掲載 SDGsパートナーフォーラムへの投稿 行政機関等への配布					
令和7年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	UDさがみはらVol.4発行 市HPへの掲載、SDGsパートナーフォーラムへの投稿 市役所窓口等への配架と庁内調整 取材先への事前調整					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	UDさがみはらVol.5, 6の発行 行政配布先への配架 取材先との事前調整					
9月末現在での事業達成度 …… (40) %程度						
成果をはかる指標 () 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等						
事業予算額	755 千円					
うち市負担金額	608 千円 (市負担割合 81 %)					

令和8年度の事業継続を




希望します

希望しません

令和8年度 事業予算額	799 千円	(当初提案時の金額 : 940 千円)
令和8年度 市負担金希望額	560 千円	(当初提案時の金額 : 671 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民	<input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 取材やNPOの取組(協働提案事業に関わる)についての情報共有が前年と比較して取れるようになった。 UDさがみはらの発行については当初の予定通りに進んでいる。				
B : 事業の評価		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 初年度と比べ、配布先が自治会長、商工会議所と広がったが未だ行政機関中心とした配布のため、引き続き民間企業等へのアプローチ方法を考えていく必要がある。				

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 協働提案事業を始めたことでUD通信の定期的な発行ができ、ユニバーサルデザインを市民に知ってもらう機会が増えている。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いとその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 今年度初めに本事業提案時に協議した目的や目指すべき成果を双方で共有し、実施内容や方法についての打ち合わせを設けたため、事業の方向性を合わせる事ができた。 引き続き、節目に行っていきたい。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。 各企業や行政のユニバーサルデザインの具体的な取組みや考え方等を掲載することにより、市民へのユニバーサルデザインを普及啓発を進めることができていると感じる。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 ユニバーサルデザインについての取組みや、考え方を広く知っていただくために民間団体である協働事業先が、普及活動を行うことで様々な企業等への取材を実施、広い範囲でのユニバーサルデザインを広めることができる。また、具体的なユニバーサルデザインの取組みを知ってもらい、市民によりユニバーサルデザインを身近に感じていただく効果が見込まれる。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなつていくと思いますか。(互いの経費負担も含む) 効果的な配布ができるよう行政の配布手法を活用し、取材先との調整に行政が関わることでUDさがみはらの円滑な発行をしている。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <hr/>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <hr/>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <hr/>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <hr/> <p>お互いの目的を共有し、より良い事業効果を発揮できるよう、引き続き緊密な連携をお願いいたします。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください →			2		
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和6年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	農園を活用した児童福祉支援事業					
団体の名称	福祉支援活動 トモ_ダチ園					
事業担当課	教育相談課					
事業の概要	不登校に苦しむ児童・生徒には、自分達が安心できる居場所がないという社会的課題がある。まずは、こうした子供たちが農作業や工作などのワークショップを通じて社会参加へのキッカケやつながりが感じられる場を作り、ワークなどを通じて得た人とのつながりや成功体験をきっかけにして自立や社会参加に向かう子供たちを増やしていく。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>まずは、11月、12月、来年2月と3回のイベント開催予定を控えています。この開催の準備を万全にするとともに、そのイベントに参加いただいた方々とのつながりを継続・発展できるような仕組み作りを継続していくことで、イベント参加者の母数を増やしていくことで、次年度の活動へとつなげていきたいと考えています。</p>					
令和7年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何ですか。</p> <p>11月22日(土)、12月6日(土)、来年2月22日(土)に農業・工作体験のイベント開催を予定しております。</p>					
令和7年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	<p>①6月7日(土)に第1回目の農業体験イベント開催と、その後の農地の維持管理</p> <p>②市民桜まつりや相模原市民フェスタへの参加を通じて、活動継続のための自己資金の調達とともに協働事業イベントのPRを実施</p> <p>③LINE公式アカウントや協働事業活動を紹介するHPを通じての周知活動</p> <p>④上記を通じた協力ボランティアスタッフの拡充</p>					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	<p>①上記3回のイベント開催に向けての準備・段取りの実施</p> <p>②上記イベントの参加者を募る周知活動</p> <p>③LINE公式アカウントなどを通じた活動状況の継続的な発信</p> <p>④継続的に協力いただけるボランティアスタッフの募集</p>					
9月末現在での事業達成度・・・(30)%程度						
<p>成果をはかる指標(事業開催回数、参加者数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p>						
事業予算額	千円					
うち市負担金額	千円 (市負担割合 #DIV/0! %)					

令和8年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和8年度 事業予算額	千円 (当初提案時の金額: 千円)
令和8年度 市負担金希望額	千円 (当初提案時の金額: 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政
事業の名称	農園を活用した児童福祉支援事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができていますか。 (意思疎通: 情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (実施団体: 自己評価、行政: 実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (行政: 自己評価、実施団体: 行政に対する評価)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか: 計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 本活動を実施するにあたり、担当行政課とのコミュニケーションに十分に留意しながら取り組むことが出来ていると考えています。また、そのプロセスを通じて、お互いの役割の確認や協力事項についての確認も深めることができています。			
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) まだ、第1回目のイベントを開催しただけの段階なので十分な根拠となるエビデンスを備えた評価としては難しいと思いますが、少なくとも、参加者の方々の反応や評価を見る限り、ポジティブなご意見をいただけており、それを通じて、今後も私達の活動やインフラの強みを十分に発揮できる事業内容であることを確信しています。 また、経費に関しては、予想外の暑さなどの気候要因があり、現時点では当初予定していたよりも維持管理にかかる経費がかさんでいる部分もありますが、通年を通して見れば、おおむね、予算範囲内に収まるものと予測しています。			

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) これに関しては、まだ活動を開始して日が浅いこともあり、具体的なメリットについて言及することは難しいと考えていますが、私達の団体活動としての信用度という点では、計画時点で期待していたプラスは十分にあると考えています。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) これに関しては、随時、担当課とのコミュニケーションを重ねて進めてきており、これまでの時点では問題なく進めることができていると考えています。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。 現時点では、まだ計画した最初のイベントを開催しただけの段階ではありますが、開催してみても参加者の反応を見る限り、今後に向けた可能性を十分に感じられているという点で良かったと言えると考えています。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 現時点では実績やエビデンスが少ないので、効果・成果という点での評価は難しいです。ただ、協働することを通じて、私達だけでは届けることが難しい人たちへコミットすることができるという点では、計画段階で考えていた通りだと思います。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 現時点までの活動や、それを通じてのコミュニケーションを振り返る限りでは、役割分担としては妥当なものだと考えています。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

20

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

21

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。

22

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

担当課においては、当事業以外に様々なイベントを開催していることもあり、そのイベント計画とのバッティングを防ぐ上での事前の情報共有は、次年度以降の私達の開催計画を考える上でも重要なポイントになると考えています。

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください ⇒	2
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型 令和6年度採択 今年度が 1 年目
事業の名称	農園を活用した児童福祉支援事業	
団体の名称	福祉支援活動 トモ_ダチ園	
事業担当課	教育相談課	
事業の概要	不登校に苦しむ児童・生徒には、自分達が安心できる居場所がないという社会的課題がある。まずは、こうした子供たちが農作業や工作などのワークショップを通じて社会参加へのキッカケやつながりが感じられる場を作り、ワークなどを通じて得た人とのつながりや成功体験をきっかけにして自立や社会参加に向かう子供たちを増やしていく。	
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>不登校児童生徒の中には、体験的な活動の経験が十分とはいえない子が多くいるものの、家庭のみの力で多くの体験の機会を設けることは難しい状況にある。少しでも多くの不登校児童生徒に本事業の情報が行き届くよう、効果的な周知を図り、農作業や工作などのワークショップといった体験的活動を通して、子どもたちの社会的自立へとつなげる。</p>	
令和7年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何ですか。</p> <p>下記事業の周知および申込み受付け、参加希望者への連絡、事業団体への申込み状況の報告。</p> <p>①津久井の里芋 植え・収穫体験(6月)</p> <p>②トモ_ダチ園の工房で手作りリース(11月)</p> <p>③小鳥の巣箱を作ろう！(12月)</p> <p>④トモ_ダチ園の工房でクラフト体験(2月)</p>	
令和7年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>①津久井の里芋 植え・収穫体験(6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 事業パンフレットの記載内容確認、申込みフォームの作成 ・5月 事業周知、参加申込み受付け ・6月 参加希望者への連絡、事業団体への申込み状況の報告 <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>②トモ_ダチ園の工房で手作りリース(11月)</p> <p>③小鳥の巣箱を作ろう！(12月)</p> <p>④トモ_ダチ園の工房でクラフト体験(2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業パンフレットの記載内容確認、申込みフォームの作成 ・事業周知、参加申込み受付け ・参加希望者への連絡、事業団体への申込み状況の報告 <p>○令和8年 3月:今年度の振り返り、次年度企画に向けた準備</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(30) %程度</p> <p>成果をはかる指標 (事業開催回数、参加者数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業開催回数・・・全4回中1回 ○参加者数・・・第1回:2家庭 	
事業予算額	1,497 千円	
うち市負担金額	1,352 千円 (市負担割合 90 %)	


令和8年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和8年度 事業予算額	1,500 千円	(当初提案時の金額 : 1,500 千円)
令和8年度 市負担金希望額	1,199 千円	(当初提案時の金額 : 1,199 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	農園を活用した児童福祉支援事業	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)			
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)			

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・現時点で実施は1回のみであるため、満足度としては「概ね」と考える。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。 ・不登校児童生徒の中には、体験的な活動の経験が十分とは言い難い子が多くいるものの、家庭のみの力で多くの体験の機会を設けることは難しい状況にあるため、農作業や工作などのワークショップといった体験的活動を通して、子どもたちの社会的自立へとつながられる本事業は、不登校児童生徒への支援の手立てとして効果的なものだと考えられる。	a	b	c	d
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 ・不登校児童生徒の居場所や学びの場として、本市には教育支援センター(相談指導教室)があるが、体験的な活動の幅を広げることには限度がある。そのような中、津久井地域に根差した団体による、地域の特性を十分に生かした体験的活動は、経験の少ない不登校児童生徒が本物に触れることのできる貴重な機会であるため、協働する必要性は十分にあると考える。	a	b	c	d
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) ・教育相談課の相談室は各区4室にあること、また、教育委員会として学校への周知も図りやすいことから、本事業の対象者へ情報が行き届きやすい環境にある。そのため、事業の周知を図るという役割分担は適切であると言える。	a	b	c	d

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19 事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

・参加希望者が申込みやすいよう、Logoフォームによる受付け方法を用いた。

20 実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

21 事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。

22 次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

・第2回以降の回は、地域の特性がより生かされる非常に魅力的な内容であるため、より多くの不登校児童生徒や保護者に、本事業の周知を進めていきます。また、定期的な情報交換の場を設け、連携を密にすることで、協働事業の充実を図りたいと考えています。

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください →	4
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型 令和6年度採択 今年度が 1 年目
事業の名称	木炭蓄電池のソーラーシステム製作を通じた「脱炭素」意識を醸成する環境教育ワークショップ事業	
団体の名称	NPO法人Class for Everyone	
事業担当課	ゼロカーボン推進課	
事業の概要	「脱炭素」を市民および子ども達が具体的にイメージし行動するきっかけになるよう、木炭蓄電池のソーラーシステムで地産地消型のエネルギー供給モデルを作り、作り方などを教える環境教育ワークショップを展開する。	
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>自分たちが使うエネルギーを地産地消で供給できるモデルを地域内で作ること、またその核となる木炭から蓄電装置を作るという技術を広く市民に知ってもらい、自分たちで電気などを作って使うということの意識を高めてもらうことを主目的とする。これら一連の取り組みが、将来的な脱炭素社会の実現に貢献することを目指したい。</p>	
令和7年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子向けの木炭蓄電装置製作ワークショップ開発と教材作成 ・木炭蓄電装置の製作ワークショップを緑区内で開催(5回) ・市に紹介してもらった場所(主に南区、中央区)でワークショップを実施(10回) ・相模原市の様々なイベントに出展 	
令和7年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>4～6月: ワークショップの開発、教材作成、ウェブページ作成、チラシ作成</p> <p>～木炭蓄電ワークショップ開催実績(日時、場所、参加人数)～</p> <p>7月20日: エコパークさがみはら(中央区) 8名</p> <p>7月25日: エコパークさがみはら(中央区) 16名</p> <p>7月27日: ユニコムプラザさがみはら(南区) 9名</p> <p>8月2日: ユニコムプラザさがみはら(南区) 7名</p> <p>8月3日: エコパークさがみはら(中央区) 8名</p> <p>8月5日: アリオ橋本(中央区でイベント出展)25名</p> <p>8月8日: ユニコムプラザさがみはら(南区) 9名</p> <p>8月22日: 森ラボ(緑区で大人も対象に) 8名</p> <p>9月12日: 相模原市立藤野南小学校(緑区)8名</p> <p>9月27日: マージナル藤野(緑区) 14名</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>～木炭蓄電ワークショップ～</p> <p>10月19日: まちづくりフェスタ2025(ユニコムプラザさがみはら)</p> <p>11月30日: 相模原SDGsEXPO(青山学院大学相模原キャンパス)</p> <p>12月26日: エコパークさがみはら</p> <p>2026年1月～3月: 緑区内で学校1回、通常開催3回予定</p> <p>9月末現在での事業達成度 . . . (75) %程度</p> <p>成果をはかる指標(ワークショップ開催回数、参加人数、教材配布数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>ワークショップは7月～9月の間に相模原市内で10回開催し、合計で112人が参加。親の参加も含めると人数は200人を超える。教材の配布は、ワークショップとイベント、また市内の小中学校へ広報など合計で800部完了。</p>	
事業予算額	2,476 千円	
うち市負担金額	2,222 千円 (市負担割合 90 %)	

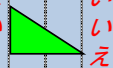

令和8年度の事業継続を

希望します 希望しません

令和8年度 事業予算額	2,800 千円 (当初提案時の金額 : 千円)
令和8年度 市負担金希望額	2,200 千円 (当初提案時の金額 : 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政
事業の名称	木炭蓄電池のソーラーシステム製作を通じた「脱炭素」意識を醸成する環境教育ワークショップ事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通: 情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体: 自己評価、行政: 実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政: 自己評価、実施団体: 行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか: 計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 木炭蓄電ワークショップを主に子ども達向けに実施するという事で、4年生以上の小学生が夏休みの自由研究題材として使える形で打ち出すという方向性を定め、行政側と教材・チラシのデザインなど細かく確認しながら二人三脚で進めることができた。特に会場については、弊団体が馴染みのない南区・中央区を中心に行政側に紹介してもらい、目標の60%を8月末までに実施することができた。 また、行政を通じて相模原市内の小中学校に木炭蓄電の教材を送ってもらい、学校の授業として実施する可能性を探ってもらった。この成果として、9月に緑区の藤野南小学校で4年生向けにワークショップを2時間枠の授業として実施することができた。			
B : 事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) この夏も非常に暑い日が続いたことで、発電と地球温暖化の関連性や脱炭素の取り組みの必要性を、小学生達に実感と共に学んでもらうことができたと感じている。ワークショップの対象を小学生としたため、基本的には親御さんも一緒に参加してもらった形となったが、大人からも「全然知らないことばかりでとても勉強になった」という声をたくさんいただくことができた。 一度のワークショップで8名～15名程度を相手にしたが、10名を超えると補助員がいないと正確な手順などを参加者に順守させられない可能性があることが分かり、適切な参加人数とワークショップ体制を構築することが肝要だと感じた。参加者が成果物を持ち帰られることは、特に自由研究の側面から良かったと思う。			

C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 中央区や南区での実施会場との交渉や、広報さがみはらを通じての広報など協働したことで単独ではできなかったことが色々やれたと感じている。また、行政側としても木炭蓄電というニッチではあるけどレアな技術をもとに、脱炭素というテーマに関連する様々な企業・団体と連携する可能性を模索できているのではないかと考えている。今後は対象を少しずつ広げながら、さらに効果的な実施方法を見出していきたい。				
D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いとその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) まず、協働しているゼロカーボン推進課の方々がとても話しやすく、こちらの事情なども加味しながら丁寧に対応してくれることでスムーズに協働を進めることができ今に至っていると感じている。また、リアクションも早く連絡の不備で何か滞るといったことがないので、急な対応も難なくこなすことができている。				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 木炭蓄電という素材を子ども向けの環境教育コンテンツにすることができたことで、これまで深掘りできなかったことを調べ、さらに良質な教材を作ることができた。例えば、そもそも電気って何だろうとか、日本で火力発電が75%も占めていて、自然エネルギーの割合がなかなか増えない何故だろうとか。そういった基本的な部分を子ども目線で疑問に持ち、蓄電の重要性を理解したうえで木炭蓄電装置を作ると、その意味合いもより実用的かつ身近になったと感じている。子どもにも分かるように説明するというのは、説明する側も大変勉強になることが多いのだ。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 相模原市はとても広く、都市と自然の融合と言えば聞こえはいいが、中央区の都市部と緑区の中山間地域では住む人々の暮らし方や考え方も異なる部分が多いだろう。多様な人々が住む政令指定都市で、2050年までのカーボンニュートラルという目標を達成するためには、やはり特に都市部の人々に脱炭素を意識した生活をしてもらうことが重要になると考えている。直接的な接点が薄い都市部の人々へアプローチするには、やはり行政の協力が不可欠であると考えており、実績を作りより都市部で濃い活動ができるようにしたいと思う。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 役割分担については、現時点でそれぞれにしかできないこと、それぞれの得意なことを適切にすみ分けして実施できている。市内の学校への教材配布など、突発的なアイデアが出たケースでもスムーズに対応してもらっており、しっかりと事業に必要なことを的確に実施できていると感じている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>夏休みの小学生向けに実施するという方向性に決めてから、特に教材についてはルビを振ったりイラストをつけたり分かりやすい内容にするよう工夫をした。</p> <p>内容としては小学生には少し難しい領域だが、結果的には電気について知り、そこから日々の暮らしのエネルギー、地球温暖化からの脱炭素社会を考えるきっかけになるようなワークショップを作れたと考えている。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>子ども向けに作ったワークショップだったが、大人からも勉強になるという好反応をいただいた。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>普段あまり接点のない南区や中央区とつながりができたことは、今後につながる材料だと考えている。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>今年度中に小学生以外を対象にしたワークショップも実験的に行い、対象レイヤーごとにどのようなワークショップ構成にするのがいいか、色々工夫しながら変えてより良い形を作っていけたらと思う。</p> <p>また、ソーラーパネルの開発メーカーなど市内の企業と連携できる道筋を見つけたいので、そのあたりの協力も期待している。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください →	4																				
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型 令和6年度採択 今年度が 1 年目																				
事業の名称	木炭蓄電池のソーラーシステム製作を通じた「脱炭素」意識を醸成する環境教育ワークショップ事業																					
団体の名称	NPO法人Class for Everyone																					
事業担当課	ゼロカーボン推進課																					
事業の概要	「脱炭素」を市民および子ども達が具体的にイメージし行動するきっかけになるよう、木炭蓄電池のソーラーシステムで地産地消型のエネルギー供給モデルを作り、作り方などを教える環境教育ワークショップを展開する。																					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>自分たちが使うエネルギーを地産地消で供給できるモデルを地域内で作ること、またその核となる木炭から蓄電装置を作るという技術を広く市民に知ってもらい、自分たちで電気などを作って使うということの意識を高めてもらうことを主目的とする。これら一連の取り組みが、将来的な脱炭素社会の実現に貢献することを目指したい。</p>																					
令和7年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子向けの木炭蓄電装置製作ワークショップ開発と教材作成 ・木炭蓄電装置製作ワークショップを緑区内で開催(5回) ・市が紹介した場所(主に南区、中央区)でワークショップを実施(10回) ・市の様々なイベントに出展 																					
令和7年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>4～6月: ワークショップの開発、教材作成、ウェブページ作成、チラシ作成</p> <p>～木炭蓄電ワークショップ開催実績(日時、場所、参加人数)～</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>7月20日: エコパークさがみはら(中央区)</td><td style="text-align: right;">8名</td></tr> <tr><td>7月25日: エコパークさがみはら(中央区)</td><td style="text-align: right;">16名</td></tr> <tr><td>7月27日: ユニコムプラザさがみはら(南区)</td><td style="text-align: right;">9名</td></tr> <tr><td>8月 2日: ユニコムプラザさがみはら(南区)</td><td style="text-align: right;">7名</td></tr> <tr><td>8月 3日: エコパークさがみはら(中央区)</td><td style="text-align: right;">8名</td></tr> <tr><td>8月 5日: アリオ橋本(中央区でイベント出展)</td><td style="text-align: right;">25名</td></tr> <tr><td>8月 8日: ユニコムプラザさがみはら(南区)</td><td style="text-align: right;">9名</td></tr> <tr><td>8月22日: 森ラボ(緑区で大人も対象に)</td><td style="text-align: right;">8名</td></tr> <tr><td>9月12日: 相模原市立藤野南小学校(緑区)</td><td style="text-align: right;">8名</td></tr> <tr><td>9月27日: マージナル藤野(緑区)</td><td style="text-align: right;">14名</td></tr> </table> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>～木炭蓄電装置ワークショップ～</p> <p>10月19日: まちづくりフェスタ2025(ユニコムプラザさがみはら)</p> <p>11月30日: 相模原SDGsEXPO(青山学院大学相模原キャンパス)</p> <p>12月26日: エコパークさがみはら</p> <p>2026年1月～3月: 緑区内で学校1回、通常開催3回予定</p>		7月20日: エコパークさがみはら(中央区)	8名	7月25日: エコパークさがみはら(中央区)	16名	7月27日: ユニコムプラザさがみはら(南区)	9名	8月 2日: ユニコムプラザさがみはら(南区)	7名	8月 3日: エコパークさがみはら(中央区)	8名	8月 5日: アリオ橋本(中央区でイベント出展)	25名	8月 8日: ユニコムプラザさがみはら(南区)	9名	8月22日: 森ラボ(緑区で大人も対象に)	8名	9月12日: 相模原市立藤野南小学校(緑区)	8名	9月27日: マージナル藤野(緑区)	14名
7月20日: エコパークさがみはら(中央区)	8名																					
7月25日: エコパークさがみはら(中央区)	16名																					
7月27日: ユニコムプラザさがみはら(南区)	9名																					
8月 2日: ユニコムプラザさがみはら(南区)	7名																					
8月 3日: エコパークさがみはら(中央区)	8名																					
8月 5日: アリオ橋本(中央区でイベント出展)	25名																					
8月 8日: ユニコムプラザさがみはら(南区)	9名																					
8月22日: 森ラボ(緑区で大人も対象に)	8名																					
9月12日: 相模原市立藤野南小学校(緑区)	8名																					
9月27日: マージナル藤野(緑区)	14名																					
	<p>9月末現在での事業達成度 . . . (75) %程度</p> <p>成果をはかる指標(ワークショップ開催回数、参加人数、教材配布数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>ワークショップは7月～9月の間に相模原市内で10回開催し、合計で112人が参加。親の参加も含めると人数は200人を超える。</p> <p>教材の配布は、ワークショップとイベント、また市内の小中学校へ広報など合計で800部完了。</p>																					
事業予算額	2,476 千円																					
うち市負担金額	2,222 千円 (市負担割合 90 %)																					

令和8年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和8年度 事業予算額	2,800 千円	(当初提案時の金額 : 2,800 千円)
令和8年度 市負担金希望額	2,200 千円	(当初提案時の金額 : 2,200 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	木炭蓄電池のソーラーシステム製作を通じた「脱炭素」意識を醸成する環境教育ワークショップ事業	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <small>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</small>		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	现阶段で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 実施団体とワークショップの対象・内容・実施時期などを1から細かく打合せし、丁寧に進めることができた。チラシや教材について、作成期限まで何度も確認・修正を繰り返して、よりよいものを作成できた。行政の役割として求められていた中央区や南区の開催場所については、どの場所なら参加しやすいか・実施団体となじみ深いかを考えた結果、環境情報センターであるエコパークさがみはらと地域活動の場であるユニコムプラザさがみはらを紹介し、本事業が終わったあとのつながりとして団体同士の橋渡しもできた。実施団体は、本事業に積極的に取り組んでおり、計画している内容を着実に進めている。			
B : 事業の評価 <small>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</small>		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 夏休みの自由研究を主軸に夏の時期に集中的にワークショップを開催したことにより、地球温暖化について説明(体感)しやすく、身近に社会的課題を感じやすい状況だった。小学校4年生以上を対象に実施したところ、地球温暖化や再生可能エネルギーに詳しい参加者もあり、教育課程との連携も大事だと認識した。参加した親も知らないことを知る機会となったようで、親子に対する啓発という意味では目的に合った事業だと考える。 協働事業終了後のことを考えると、ワークショップの参加者が多い時に人手が足りないように感じたため、実施期間中にワークショップの対応ができる人材の育成までできるとよい。予算については、実施団体にて高額なものを少しでも安価に入手できないか検討を行うなど、適切な予算執行に努めていた。			

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 木炭蓄電装置の作成に興味を持った参加者に対し、脱炭素に関する講義も実施することによって、楽しみながら脱炭素を学ぶことのできる機会がくれたため、協働したことによる事業効果が高い。脱炭素に関する講義のみでは参加者は少なかったと思う。電気の話から再生可能エネルギー、ひいては地球温暖化につながっていく講義の流れ・内容については、当課としても参考にしたい。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) お互いに齟齬が生まれないう、定期的な連絡・打合せを行うことで、1つ1つ丁寧に進めることができた。引き続き、連携しながら進めていきたい。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。 上記のとおり、脱炭素に関する講義に加え、当課だけでは実施できない木炭蓄電装置のワークショップを組み合わせることによって、楽しみながら脱炭素を学ぶことのできる機会がくれたため、協働により高い効果を得られている。ワークショップの現場において、子どもも大人も興味深々で楽しそうに参加していた。また、自由研究に焦点を当てたことにより、自由研究提出後に他の生徒にも波及する効果も期待できる。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 市単独で実施していた場合、脱炭素に関する座学の講義になりがちだが、実施団体と協働することにより、専門的知識が必要な木炭蓄電装置の制作と電気に関する知識も組み合わせた脱炭素に関する講義の実施が可能となり、参加者の興味を惹き、より効果的な啓発につながっている。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む) 当初の計画に記載した役割分担に沿ってお互いに連携しながら進めることができていると考えている。具体的には、学校などに対しワークショップを周知し、南区や中央区の展開に向け、公共施設など開催場所の調整は市において実施することによって、会場の確保や参加者の増加につながった。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">・こまめな連絡調整、情報共有を心掛けている。・会場選定等において当課及び市民協働推進課の指定管理施設と実施団体を繋げた。・教育委員会の学校への周知ツールであるさがリスを活用し、先生への周知を行った。
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">・議会において市議会議員から評価をいただいた。・一部の教職員から興味を持ってもらい、事業でも活用したいといった声があった。
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">・実施団体と他の団体（エコパークさがみはら、ユニコムプラザさがみはら、イベントの実行委員会や参加団体など）とのつながりができた。
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <hr/> <p>まだ1年目となりますが、協働したことにより、興味を惹くワークショップになっている。 2年目以降も打合せを重ねながらよいワークショップを考えていきたい。</p>
その他	

審査会採点および意見

事業の有効性	事業は地域や市民のニーズを的確に捉え、市民が抱える公共的課題に応じているか。	
	/ 5	コメント
協働の必要性	単独よりも協働して取り組むことで、より高い効果・成果を得られているか。	
	/ 5	コメント
役割分担の妥当性	協働の関係性や役割分担は適切か。	
	/ 5	コメント
経費の妥当性	事業の必要性、協働の必要性等を勘案し、事業経費や負担割合は適切なものであるか。	
	/ 5	コメント
継続の妥当性	課題解決のために協働事業提案制度において継続することが妥当か。	
	/ 5	コメント
合計	/ 25	

普通=3点を基準として採点

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

協働事業提案制度審査作業部会 委員名簿

No.	氏名	構成員名	現職
1	ねぎし てるおみ 根岸 昭臣	相模原市市民協働 推進審議会委員	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 理事
2	ふじた きよし 藤田 潔	アドバイザー	コンサルティングオフィス KT 中小企業診断士
3	はらだ かずあき 原田 和明	相模原市市民協働 推進審議会委員	相模原市公民館連絡協議会 副会長
4	ひらやま やすのぶ 平山 易申	アドバイザー	西武信用金庫橋本支店 支店長
5	やまぎし えみり 山岸 絵美理	相模原市市民協働 推進審議会委員	大月市立大月短期大学 経済科 准教授